その他

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1	事業者等の	既要										
氏	名又は名称						国立	立大学 》	去人信州大	:学		
,	代表者名	氏	:名			濱田	日州博		役職名	信州	大学学長	
	たる事務所 の所在地						長	野県松	本市旭3-1	-1		
È	Eたる事業	大分	分類					O 耄	育、学習	支援業		
	の分類	中分	中分類 81 学校教育									
Ė	Eたる事業 の概要	教育	教育、研究、病院診療									
		V	条例	第12	条第1	項第	1号及び条例	列施行規	見則第4条第	第2項第1号に該	当する事業者	
制度	Eに該当する 要件		条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者									
	安什		条例	第12	条第1	項第	2号に該当す	トる事業	美者			
			上記	以外	(任意	急提出	出)の事業者	<u> </u>		_		
			基準	生年度	実績	最終	年度の目標	第一	年度報告	第二年度報告	第三年度報告	
ي .	曲換算エネル ドー使用量	k1			16742		16780					
化	ギー起源二酸 炭素排出量	t- CO ₂			34142		34219					
	その他ガス 非出量合計	t- CO ₂			0							
自	動車の台数	台			68							
	動車からの 気ガス合計	t- CO ₂			147							
2	基準年度、詩	計画	期間	及び幸	報告対	象年	度					
	基準年度	平	成	28	年度		計画期間	1	平成 29 年	度~ 平成 31	年度	
	報告対象 年度	平成年度										
3	計画書(報行) の·	公表	方法等							
\ <u>\</u>	ホームペー	-ジ										
	印刷物の閲覧 http://www.shinshu-u.ac.jp/environment/works/energy/											

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針
主要5キャンパスにおいて、それぞれ環境委員会を設置しており、その組織の中に省エネルギーに関する部会を設置し、省エネルギーに取り組んでいる。
5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制
別紙1参照
5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度
環境委員会(年4回程度)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

6の1	エネル	ギー起源二酸化炭素	素の排出抑制に	こ係る 目	標及び実績				_
基 準	年 度	基準排出量	34, 142	t-CO ₂	延べ床面積	4, 051	単位	百㎡	
28	年度	調整後排出量	33, 971	t-CO ₂	基準原単位	8. 43	t-CO ₂ /	百㎡	
目標	年 度	目標排出量	34, 219	t-CO ₂	目標原単位	8. 18	t-CO ₂ /	百㎡	寄与度の合計から 求めた目標削減率**
31	年度	目標削減率	(0. 23)	%	目標削減率	3.00	%		
		第1期間の結果を踏 分を見込んだ目標打						予定	※事業の内容により 単一の原単位を設定 できない者のみ記載 する(以下同じ)。
第一	·年度	排出量	0	t-CO ₂	延べ床面積		単位		
>14		調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から 求めた実績削減率 [※]
	年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
	量等の 注理由								
第二	年度	排出量	0	t-CO ₂	延べ床面積		単位		de la de la constantia de
		調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から 求めた実績削減率 [※]
	年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
	量等の は理由								
笠 二	年度	排出量	0	t-CO ₂	延べ床面積		単位		
77_	- 1 /2	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から 求めた実績削減率**
	年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
況及び	達成状 排出量 咸理由								

6の2エネルギ	一起源二酸化炭素」	以外の温室効果	見ガスの	排出抑制に係る	目標及び実績		_
基 準 年 度	基準排出量	0	t-CO ₂		<u>i</u>	単位	
28 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位	t-	-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位	t-	-CO ₂ /	寄与度の合計から 求めた目標削減率**
年度	目標削減率		%	目標削減率	%)	
目標設定に関する説明							※事業の内容により 単一の原単位を設定 できない者のみ記載 する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂		<u>ì</u>	単位	
<i>和</i> 干及	調整後排出量		t-CO ₂	原単位	t-	-CO ₂ /	寄与度の合計から 求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率	%)	
排出量等の 増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂		<u>ì</u>	単位	
7V-1/2	調整後排出量		t-CO ₂	原単位	t-	-CO ₂ /	寄与度の合計から 求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率	%)	
排出量等の 増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂		<u>ì</u>	単位	
和二十 汉	調整後排出量		t-CO ₂	原単位	t-	-CO ₂ /	寄与度の合計から 求めた実績削減率**
年度	削減率		%	削減率	%)	
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由							

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

603 目期里(<u> 7 使用に伴り ―酸</u>	化灰糸の外山抑	可に済る目標	示及い夫限	
基 準 年 度 28 年度	基準排出量		t-CO ₂		
目 標 年 度 年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%
目標設定に 関する説明					
第 一 年 度 年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	%
排出量等の 増減理由					
第二年度年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	%
排出量等の 増減理由					
第三年度年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	%
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由					

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
Ι , Π	1	燃料使用量等の 定期的な把握						
1 \ 11	2	エコドライブの 励行						
ш, іу	_	次世代自動車の 導入						

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

				計画		状況
番号	区分	対策内容	美施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	150201 照明器具及びランプの適正な選択	H29			
2	エネ起	150202 自動調光による減光、消灯	H29			
3	エネ起	160201 構造体に断熱性管理	H29			
4	エネ起	160202 窓の断熱、機密性	H29			
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO_2					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO_2					
J ークレジット制度によ り創出されたクレジット	tCO_2					
県が認証したクレジット	tCO_2					
電気の利用に伴うもの	tCO_2	171				
低炭素電力の利用	tCO_2					

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模	基準年度		第一	年度	第二	年度	第三年度	
(原油換算エネルギー使用量)	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	23, 815						
1,500k1以上 3,000k1未満	1	4, 273						
1,500k1未満	17	6, 054						
合計	19	34, 142						

12 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0			
CH ₄	0			
N_2O	0			
HFC	0			
PFC	0			
SF ₆	0			
NF_3	0			
合計	0	0	0	0

13 次世代車使用台数、導入計画及び実績

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイ ブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼ ル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	14			
合計	14	0	0	0
自動車総数	68			
次世代車導入割合	20.6			

14 中小企業支援状況

	区分	内容
自	中小企業への 省エネ診断	特になし
7	その他	特になし

15 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー 通 勤	特になし
公共交通機関 の利用促進	特になし
来 客 者 の 交 通 対 策	特になし
物流の合理化	特になし

16 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	IS014001	2001年度~2016年度(認証返上)
2		
3		

17 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	IS014001に基づく環境教育訓練の実施(教職員・学生)
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	

18 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基 準 年 度 以前の取組み	照明器具及び空調機器の更新	79
その他		

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 県内の工場等の概要

1 県内の工場等の概要												
工場等の名称		信州大学松本キャンパス										
工場等の所在地		長野県松本市旭3-1-1										
主たる事業の分	大分	大分類 O 教育、学習支援業										
類	中分	中分類 81 学校教育										
事業の概要	教育	教育、研究、病院診療										
工場等の種類		大学	Ź	延べ床面積	211902		m^2					
所有状況		オーナ		使用範囲	全て使用							
		基準年度	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年	度報告					
原油換算エネル ギー使用量	k1	11712	12007									
エネルギー起源二酸 化炭素排出量	t- CO ₂	23815	24416									
その他ガス 排出量合計	t- CO ₂	0	0									

	その他ガス排出量合計	t- CO ₂	0	0							
	2 温室効果ガス排出抑制のための基本方針										
À	総括表に記載のとおり。										
	3 温室効果ガン	ス排	出抑制のための	組織体制							
Á	総括表に記載の 。	とお	り。								

4の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る計画及び実績

4071	エイル		糸切排山抑制 的	- NV - 2 11				
基 準	年 度	基準排出量	23, 815	t-CO ₂	延べ床面積	2, 119	単位	<mark>i m²</mark>
28	年度	目標排出量	24, 416	t-CO ₂	基準原単位	11. 24	t-CO ₂ / =	i m²
目標	年 度	目標削減率	-2.53	%	目標原単位	10. 90	t-CO ₂ / =	新聞 寄与度の合計から 求めた目標削減率**
31	年度				目標削減率	3.00	%	
目標設 関する		第1期間の結果を踏分を見込んだ目標打	話えて、原単 非出量を計画で	位削減ける。	目標に基づいて建 (延べ床面積 約12	物延べ床面 20百㎡増加予	積増加予算 定)	定 ※事業の内容により 単一の原単位を設定 できない者のみ記載 する(以下同じ)。
答	左连	排出量	0	t-CO ₂	延べ床面積		単位	
第一年	午	削減率	100.00	%	原単位		t-CO ₂ /	寄与度の合計から 求めた実績削減率 [※]
	年度				削減率		%	
排出量 増減3								
第二年	年度	排出量	0	t-CO ₂	延べ床面積		単位	
714—		削減率	100.00	%	原単位		t-CO ₂ /	寄与度の合計から 求めた実績削減率**
	年度				削減率		%	
排出量 増減3								
第三年	在唐	排出量	0	t-CO ₂	延べ床面積		単位	
	1-1/2	削減率	100.00	%	原単位		t-CO ₂ /	寄与度の合計から 求めた実績削減率**
	年度				削減率		%	
目標の意 況及び初 の増減	排出量							

4の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る計画及び実績

	> 117	, ,C ,,,,— ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	111201 - 1111112	/4//			
基準年	F 度	基準排出量	0	t-CO ₂		単位	
28 4	年度	目標排出量	0	t-CO ₂	基準原単位	t-CO ₂ /	
目標年	下 度	目標削減率		%	目標原単位	t-CO ₂ /	寄与度の合計から 求めた目標削減率**
4	年度				目標削減率	%	
目標設定関する説							※事業の内容により 単一の原単位を設定 できない者のみ記載 する(以下同じ)。
第一年	曲	排出量	0	t-CO ₂		単位	
第一中 <i>,</i>	及	削減率		%	原単位	t-CO ₂ /	寄与度の合計から 求めた実績削減率 [※]
4	年度				削減率	%	
排出量等 増減理							
第二年	度	排出量	0	t-CO ₂		単位	
71 — T	/X	削減率		%	原単位	t-CO ₂ /	寄与度の合計から 求めた実績削減率 [※]
4	年度				削減率	%	
排出量等 増減理							
第三年	度	排出量	0	t-CO ₂		単位	
из—Т		削減率		%	原単位	t-CO ₂ /	寄与度の合計から 求めた実績削減率 [※]
4	年度				削減率	%	
目標の達 況及び排 の増減理	出量						

県内の工場等: 信州大学松本キャンパス

5 排出抑制目標達成のための具体的な措置

				計画	状況		
番号	区分	対策内容	実施 予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)	
1	エネ起	150201 照明器具及びランプの適正な選択	H29				
2	エネ起	150202 自動調光による減光、消灯	H29				
3	エネ起	160201 構造体に断熱性管理	H29				
4	エネ起	160202 窓の断熱、機密性	H29				
5							
6							
7							
8							
9							
10							

6 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

(t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源CO ₂	0			
CH_4	0			
N_2O	0			
HFC	0			
PFC	0			
SF ₆	0			
NF_3	0			
合計	0	0	0	0

7 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

8 重点対策の実施状況

対象	段階	対策名	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
	I	運転管理、計測記 録、保守・点検の ルールの設定	実施済	実施済				
規則第4		管理実態の把握	実施済	実施済				
4	II	エネルギー使用実 態の把握	実施済	実施済				
条第2項第	Ш	設備更新計画の策 定	未実施	実施予定				
	IV	設備更新の実施	実施中	実施中				
1号該当事業者			☑ 照明	設備 ✓	ボイラー		V	ポンプ
業者		使用設備	☑ 空調	機 📗	工業炉	✓	ファン・ブロア	
			☑ 熱源	設備 🗌	コンプレ	ッサ	✓	発電設備
	Ι	HFC、PFC、SF ₆ 封入 機器の管理						
L	П	HFC、PFC、SF ₆ 使用 量の把握						
規則		代替方策の検討						
則第4条第2	Ш	ノンフロン機器へ の転換検討						
第 2		SF ₆ の転換検討						
項		漏えい個所対策の 実施						
号該当		除害装置(ガス回 収装置)の設置						
第2号該当事業者	IV	代替方策の実施						
有		ノンフロン機器へ の転換実施						
		SF ₆ の転換実施						

9 中小企業支援

	区分	内容
中省	小企業への エ ネ 診 断	特になし
そ	の他	特になし

10 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー 通 勤	特になし
公共交通機関 の利用促進	特になし
来 客 者 の 交 通 対 策	特になし
物流の合理化	特になし

11 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年			
1	IS014001	2001年度~2016年度(認証返上)			
2					
3					

12 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	IS014001に基づく環境教育訓練の実施(教職員・学生)
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	

13 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基 準 年 度 以前の取組み	照明器具及び空調機器の更新	69
その他	特になし	

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 県内の工場等の概要

1										
工場等の名称		信州大学長野(工学)キャンパス								
工場等の所在地			長野	県長野市若里4-1	7-1					
主たる事業の分	大分	分類	O 教育、学習支援業							
類	中分	中分類 8 1 学校教育								
事業の概要	大学教育、研究									
工場等の種類		大学	Ź	延べ床面積	60837		m^2			
所有状況		オーナ		使用範囲	全て使用					
		基準年度	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年	度報告			
原油換算エネル ギー使用量	kl	2108	2044							
エネルギー起源二酸 化炭素排出量	t- CO ₂	4273	4143							
その他ガス 排出量合計	t- CO ₂	0	0							

	その他ガス 排出量合計	t- CO ₂	0	0		
2	温室効果ガ	ス排出抑制	制のための	基本方針		
総	括表に記載の					
3	温室効果ガ	ス排出抑制	制のための)組織体制		
総	括表に記載の	とおり。				

4の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る計画及び実績

4 (1)	エネル	ギー起源一酸化炭素	素の排出抑制に	2併る計	画及び美績				
基 準	年 度	基準排出量	4, 273	t-CO ₂	延べ床面積	608	単位	百㎡	
28	年度	目標排出量	4, 143	t-CO ₂	基準原単位	7. 02	t-CO ₂ /	百㎡	
目標	年 度	目標削減率	3. 05	%	目標原単位	6. 81	t-CO ₂ /	百㎡	寄与度の合計から 求めた目標削減率**
31	年度				目標削減率	3.00	%		
	設定に る説明	第1期間の結果を踏	皆まえて、原単	位削減	目標に基づいた目	標排出量と	する。		※事業の内容により 単一の原単位を設定 できない者のみ記載 する(以下同じ)。
笛—	·年度	排出量	0	t-CO ₂	延べ床面積		単位		
<i>h</i>	十反	削減率	100.00	%	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から 求めた実績削減率**
	年度				削減率		%		
	量等の 注理由								
第一	年度	排出量	0	t-CO ₂	延べ床面積		単位		
		削減率	100.00	%	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から 求めた実績削減率**
	年度				削減率		%		
排出量 増減	量等 <i>の</i> 注理由								
第 二	年度	排出量	0	t-CO ₂	延べ床面積		単位		
/n_	-十/又	削減率	100.00	%	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から 求めた実績削減率**
	年度				削減率		%		
況及び	達成状 排出量 咸理由								

4の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る計画及び実績

4072	ルイー起源一般化灰	ポタケー・ク血主力	77 × 7	の排山抑制に依			
基 準 年	度 基準排出量	0	t-CO ₂		単位		
28 年月	度 目標排出量	0	t-CO ₂	基準原単位	t-CO ₂ /		
目標年	度目標削減率		%	目標原単位	t-CO ₂ /		寄与度の合計から 求めた目標削減率**
年月	Ŧ			目標削減率	%		
目標設定に 関する説明						単で	《事業の内容により 単一の原単位を設定 ごきない者のみ記載 ける(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂		単位		
第一 <u></u> 中度	削減率		%	原単位	t-CO ₂ /		寄与度の合計から 求めた実績削減率 [※]
年月	ŧ			削減率	%		
排出量等の 増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂		単位		
第二十 及	削減率		%	原単位	t-CO ₂ /		寄与度の合計から 求めた実績削減率**
年月	ž Ž			削減率	%		
排出量等の 増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂		単位		
 	削減率		%	原単位	t-CO ₂ /		寄与度の合計から 求めた実績削減率**
年月	ŧ			削減率	%		
目標の達成 況及び排出 の増減理由	量						

県内の工場等: 信州大学長野(工学) キャンパス

5 排出抑制目標達成のための具体的な措置

			Ī	計画	状況		
番号	区分	対策内容	実施 予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)	
1	エネ起	150201 照明器具及びランプの適正な選択	H29				
2	エネ起	150202 自動調光による減光、消灯	H29				
3	エネ起	160201 構造体に断熱性管理	H29				
4	エネ起	160202 窓の断熱、機密性	H29				
5							
6							
7							
8							
9							
10							

6 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

(t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源CO ₂	0			
CH_4	0			
N_2O	0			
HFC	0			
PFC	0			
SF ₆	0			
NF_3	0			
合計	0	0	0	0

7 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

8 重点対策の実施状況

対象	段階	対策名	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
規則第	I	運転管理、計測記 録、保守・点検の ルールの設定	実施済	実施済				
	П	管理実態の把握	実施済	実施済				
4	111	エネルギー使用実 態の把握	実施済	実施済				
条第2項第	Ш	設備更新計画の策 定	未実施	実施予定				
	IV	設備更新の実施	実施中	実施予定				
1号該当事業者	使用設備		✓ 照明設備 □ ボイラー			V	ポンプ	
業者			☑ 空調機 □ 工業炉			✓	ファン・ブロア	
			□ 熱源設備 □ コンプレッサ			☑ 発電設備		
	I	HFC、PFC、SF ₆ 封入 機器の管理						
.L⊟	П	HFC、PFC、SF ₆ 使用 量の把握						
規則第		代替方策の検討						
則第 4 条 第 2	Ш	ノンフロン機器へ の転換検討						
第 2		SF ₆ の転換検討						
項		漏えい個所対策の 実施						
第2号該当事業者		除害装置(ガス回 収装置)の設置						
		代替方策の実施						
有		ノンフロン機器へ の転換実施						
		SF ₆ の転換実施						

9 中小企業支援

	区分	内容
中省	小企業へ <i>0</i> エ ネ 診 関	特になし
そ	の化	1 特になし

10 交通対策

区分	実施内容
	特になし
公共交通機関 の利用促進	特になし
来 客 者 の 交 通 対 策	特になし
物流の合理化	特になし

11 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年	
1	IS014001	2001年度~2016年度(認証返上)	
2			
3			

12 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	IS014001に基づく環境教育訓練の実施(教職員・学生)
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	

13 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基 準 年 度 以前の取組み	新棟建築時に省エネルギー性能の高い設備を導入	不明
その他	特になし	

● 環境マインド推進センター組織図

平成29年4月1日現在

環境マインド推進センター長 - 学長

環境マインド推進副センター長ー

環境施設担当理事及び教務担当理事

(温暖化対策責任者)

【センター運営委員会】

委員長 - 環境マインド推進センター長 副委員長 - 環境マインド推進副センター長

委員

【松本キャンパス】 各学部長,全学教育機構長,総合安全センター長,医学部附属病院長,各専門部会長環境学生委員会代表,総務部長,財務部長,学務部長,研究推進部長,環境施設部長

【長野(教育) キャンパス】 教育学部長 【長野(工学) キャンパス】 工学部長 【上田キャンパス】 繊維学部長 【伊那キャンパス】 農学部長

【センター業務推進会議】

議 長 一環境施設担当理事

副議長 一教務担当理事

委員 一各学部,全学教育機構,法曹法務研究科 医学部附属病院より各1名 (兼務)

総務部長,財務部長,学務部長,研究推進部長,環境施設部長

【センター顧問】

工学部 教授

【センター職員】

環境施設部環境管理課長

(計画書提出担当者)

環境施設部環境管理課主查環境施設部環境管理課係員

(温暖化対策担当者)

工学部兼務技術職員

学務部学務課共通教育 GL

【環境報告書作成WG】

教職員及び学生 計24名

【松本キャンバス】

サイトトップ(学長) 環境管理責任者 事務局長:環境施設部長 (環境管理課所掌)

キャンパス環境委員会

第一種指定工場

【長野(教育)キャンパス】

サイトトップ(教育学部長)

環境管理責任者

キャンパス環境委員会

【長野(工学) キャンパス】

サイトトップ(工学部長)環境管理責任者

管理主查 (温暖化対策担当者)

キャンパス環境委員会

第二種指定工場

【上田キャンパス】

サイトトップ(繊維学部長)

環境管理責任者

キャンパス環境委員会

【伊那キャンパス】

サイトトップ(農学部長)

環境管理責任者

キャンパス環境委員会